

TPM Awards 2022 1st Stage アジェンダ <サンプル>

会社名/工場名 : XXX Co., Ltd. XXX Plant

審査日 : 2022 年 MM 月 DD 日

審査時間 : xx:xx - xx:xx (日本時間 xx:xx-xx:xx)

1. 出席者名

企業 : AAA, BBB, CCC, …

審査員 : EEE, FFF

通訳者 (日本語) : HHH

*緊急時連絡先

企業 : Mr/Ms KKK TEL +xx-0000-0000

通訳 : Mr/Ms LLL TEL +xx-1111-1111

JIPM : Mr. /Ms JJJ TEL +81-0000-0000

・時間配分、流れを含めて、あくまでサンプルです

・オンライン審査は1日の上限を300分としますが、余裕を持って組むようにしてください

・審査日、審査時間はTPM賞審査事務局と相談のうえ、決定いたします

緊急時連絡先は、審査当日に連絡の取れる携帯電話などを記載ください

JIPMの電話には、当日以外はかけないようお願いします(当日審査専用)

2. 概況説明 (A Schedule)

予定時刻	日本時刻	時間	内容	担当者
09:30	13:00		接続テスト *確認後、マイク・カメラオフ	
10:00 - 10:05	13:30 - 13:35	5分	イントロダクション 挨拶・出席者紹介 スケジュール確認・連絡事項	
10:05 - 10:42	13:35 - 14:12	37分	Chapter 1-3 and 12 説明 12分 質疑 25分	
10:42 - 10:47	14:12 - 14:17	5分	休憩 *マイク・カメラオフ	
10:47 - 11:24	14:17 - 14:54	37分	Chapter 4 - 7 説明 12分 質疑 25分	
11:24 - 12:01	14:54 - 15:31	37分	Chapter 8 - 11 説明 12分 質疑 25分	
12:01 - 12:50	15:31 - 16:20	49分	休憩 *マイク・カメラオフ	-

・記載の時間、内容はサンプルです

・1次審査指摘事項および質問事項への回答、概況書各章についての短時間の発表、質疑応答を行います

・いくつかの章をまとめて発表および質疑を行います

※2日間での審査を申請している場合(ワールドクラス賞、アドバンスト特別賞など)は、適宜時間配分を増やして構いません

3. 現場説明 (B Schedule)

予定時刻	日本時刻	時間	内容	提出資料ファイル名	担当者
12:50 - 13:00	16:20 - 16:30	10分	製造工程紹介	-88_D_Video	
13:00 - 13:18	16:30 - 16:48	18分	[個別改善] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_FI -88_B_FIVideo	
13:18 - 13:36	16:48 - 17:06	18分	[自主保全] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_AM	
13:36 - 13:54	17:06 - 17:24	18分	[計画保全] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_PM -88_B_PMVVideo	
13:54 - 13:59	17:24 - 17:29	5分	休憩 *マイク・カメラオフ		
13:59 - 14:17	17:29 - 17:47	18分	[品質保全] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_QM	
14:17 - 14:35	17:47 - 18:05	18分	[初期管理] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_EM	
14:35 - 14:53	18:05 - 18:23	18分	[教育訓練] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_E&T	
14:53 - 15:11	18:23 - 18:41	18分	[安全・衛生・環境] ・発表 8分 ・質疑 10分	-88_B_SHE -88_B_SHEVideo	
15:11 - 15:41	18:41 - 19:11	30分	休憩 (審査員会議) *マイク・カメラオフ	-	-

- ・記載の時間、内容はサンプルです
 - ・各テーマについての発表、質疑応答を行います
 - ・当日の発表数は最低6テーマとしますが、事前提出資料は、全柱の活動について資料をご用意ください
- ※2日間での審査を申請している場合（ワールドクラス賞、アドバンスト特別賞など）は、適宜時間配分や発表数を増やして構いません

4. 講評

予定時刻	日本時刻	時間	内容	担当者
15:41 - 16:11	19:11 - 19:41	30分	講評	審査員
16:11 - 16:15	19:41 - 19:45	4分	閉会	

<参考>

- ・全てに通訳（日本語）の時間を含んでいます。発表、説明、回答は全て、通訳を通して行うようにお願いいたします
- ・通訳者は御社で手配してください
- ・通訳者は、受審者と審査員のコミュニケーションのうえで、重要な役割を持ちます。審査資料の翻訳者ならびに審査当日の通訳者には、日本語通訳としての実績とともに製造業への理解（できればTPMについても）がある方が望ましいです。
- ・審査の日程、時間はTPM賞審査事務局と調整のうえ決定します
- ・当日使用する資料、映像は、原則として事前の提出物と同じ内容としてください
※追加、変更がある場合でも、提出資料のページ番号で質疑を進められるようにしてください
- ・事前に送っていただく資料、映像に付ける説明音声は、できる限り日本語にさせていただくと審査当日がスムーズになります
- ・事前に送っていただいた資料、映像は、審査員に共有、確認したうえで、当日の審査に臨みます

限られた時間のなかで審査を進めることになりご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします